

◆授業のポイント◆

- I 作品を鑑賞し、その表現意図や特徴、よさや美しさなどを読み取り、自分の言葉で説明・批評できる力を育成する手立ての工夫
- II 鑑賞の手引き、ワークシート等の活用の工夫

美術科学習指導案

学 級 3年1組 (男子21名 女子19名 計41名)
場 所 第一美術室 (3年棟3階)
授業者 教 諭 吉 留 雅 樹

1 題 材 「名探偵美術館Ⅱ」名画のよさや美しさを探り、題名を推理しよう

2 題材について

絵画とは、ただ見たままをリアルに描くだけでなく、作者の思いや心情なども、色や形を使って表現されているものが多い。また、その思いや心情というものには、作者それぞれの表現の仕方があり、それをどのように感じるか、考えるかは、その絵画を鑑賞する者の感性に委ねられている。

本校3年生は、鑑賞の基礎的・基本的な知識や技能は習得されつつあり、それらを活用して感じたことを自分の言葉でまとめたり、考えを人前で発表したりすることができる生徒は増えてきている。しかし、相手の考えや発言に対して、質問したり批評したりする討論的言語活動では、まだ根拠をもって発言できる生徒は少ない。それは、美術に対する価値意識が十分に育っていないために、自分の感じ方や考え方に自信がもてないことが大きな要因であろう。

本題材では、シャガールの名画「彼女をめぐって」を取り扱う。この絵には、色彩の詩人といわれたシャガールの、最愛の妻を亡くした悲しみや、戦争で失った故郷、未来を照らす一筋の希望などが、様々な色や素材で表現されている。その神秘的で独創的な表現や素材は、生徒の鑑賞に対する興味・関心を喚起するものと思われる。そして、絵から感じられる作者の心情や意図、創造的な表現が、題名とどのように結びついているかを推理していくことで、ただ名画を分析批評していただくだけの授業に比べて、生徒はより知的好奇心や興味が刺激され、名画に対して親しみをもち、より深く味わえるものと考えた。鑑賞において、感じたことをまとめたり、発表したりする学習が苦手な生徒も、言葉では表現しづらいイメージや感覚を題名として表現する作業なら、取り組みやすくなる。また、そこから理由付けに発展させたり、それについて他人と話し合い、批評し合ったりすることは、自分なりの価値観を再確認し、他者の考えに触れ、自分の視野を広げる力を身に付けることにつながる。さらに、互いの考えを伝え合う活動を通して、生徒同士の結び付きも深められ、思いを素直に言葉にし、他者と話し合い、伝え合うことで、鑑賞する力やコミュニケーションの能力も高めていけるものと考えた。

3 題材目標

- (1) 作品に関心をもち、鑑賞する楽しさや喜びを感じる。(関心・意欲・態度)
- (2) 作品の特徴や表現の工夫を感じ取り、深く味わう。(鑑賞の能力)
- (3) 自他の感じ方、見方のよさを知り、言葉で表現し、認め合う。(鑑賞の能力)

4 指導計画 1時間扱い (本時)

題 材	時間	学 習 内 容
「名探偵美術館Ⅱ」 名画のよさや美しさを探り、 題名を推理しよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名画を分析し、感じたことを題名で表現する。 ・ 題名についてお互いに言葉で説明・批評し合う。 ・ 鑑賞の仕方を学ぶ。

5 評価規準

関心・意欲・態度	鑑 賞 の 能 力
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞する喜びを味わい、作品や作者に興味をもち自ら調べたり、いろいろなものを意欲的に鑑賞しようとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り理解し見方を深める。 ・ 感性や想像力を働かせて、自分の価値意識を大切にしながら美術作品のよさや美しさなどを感じ取り、味わったり批評し合ったりする。

6 本時の実際 (1 / 1)

(1) 授業設計の工夫

- ① 作品を鑑賞し、その表現意図や特徴、よさや美しさなどを読み取り、自分の言葉で説明・批評できる力を育成する手立ての工夫
 - ・ 自分の考えや価値意識を題名で表現させ、言葉で表現することが苦手な生徒も取り組みやすくさせる。
 - ・ グループ活動や全体討議を取り入れることで、話し合いを活発にし、理解力も向上させる。
- ② 鑑賞の手引き、ワークシート等の活用の工夫
 - ・ 「鑑賞のポイント」(絵画を鑑賞する際に押さえておくべき要点の一覧)を、本校美術科で独自に作成し、活用する。

(2) 本時の目標

上記題材目標に同じ。

(3) 展開

過程	時間	形態	主な学習活動	○指導上の留意点 ◎評価 ※指導のポイント
導 入	3分	個 一斉	1 黒板に貼られた絵や絵画カードを見て、感じたことを発表する。	○ 第一印象(イメージや特徴など)を簡単に発表させる。 ・ 黒板に1枚の名画を提示し、さらに手元にも絵画カードを配る。 ・ 5つの題名を提示する。
	1分	一斉	2 本時の学習内容を確認する。 名画のよさや美しさを探り、題名を推理しよう	○ 学習の見通しをもたせる。 ・ ワークシートに記入

展	3分	個	3 題名を推理する。(第1次)	<p>○ 第一印象から簡単に推理させる。</p> <p>◎ 鑑賞する喜びを味わい、意欲的に鑑賞しようとしている。</p> <p>※ 言葉では表現しづらい自分の考えや価値意識を題名で表現する。</p>	
	2分	一斉	4 ネームプレートを貼る。	<p>○ 題名が決まったら、自分が選んだ題名の下に、ネームプレートを貼らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 列ごとに前に貼らせる。 ・ 周りに惑わされないように注意を促す。 	
	3分	一斉	5 鑑賞のポイントを確認する。(習得)	<p>※ 鑑賞の手引き「鑑賞のポイント」(資料)を活用し、絵を鑑賞・分析するポイントを振り返らせる。</p>	
	8分	個	6 絵画を分析し直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 何が描かれているか。 ・ 色や形はどうか。 ・ どんな意味が込められているのか。 	<p>○ 作者のこと、鑑賞のポイントを踏まえて、もう一度細かく分析させる。</p> <p>◎ 絵に何が描かれ、どのような意味があるかなどについて、積極的に考えようとしている。</p>	
	2分	個	7 題名を推理する。(第二次)	<p>○ ここでは、ネームプレートは移動させない。</p>	
	8分	グループ	8 グループで話し合う。	<p>◎ 意欲的に話し合いに参加している。</p> <p>※ 自分の分析結果を班員と照らし合わせ、グループとしての分析結果をまとめさせる。</p>	
	8分	一斉	9 全体で話し合い・討論をする。(活用)	<p>○ グループでの推理結果を基に、それぞれの考えや疑問点、質問や意見などを出し合い、討論させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの意見が出るように導く。 <p>◎ 意欲的に発表している。</p> <p>◎ 友達の考えや作品のよさに気づき、認めようとしている。</p> <p>※ 自分や他者の推理結果を基に、話し合いを行う。</p>	
	2分	一斉	10 題名の最終結論を出し(第三次)、黒板のネームプレートを最終手直しする。	<p>○ グループでの話し合いと全体討論を基に、題名の最終結論を出させ、黒板のネームプレートを最終手直しさせる。</p>	
	開				

展 開	5分	一斉	11 本来の題名と解説を聞く。	○ 自分の答えと、実際の題名が異なっていたとしても、そのことは重要ではなく、絵画を分析し、自分なりに題名をイメージしたことに意味があることを告げる。
	3分 2分	個 一斉	12 本時を振り返り、まとめをワークシート・自己評価カードに記入する。 13 本時のまとめを聞く。	○ 興味が湧いた人は、シャガールの他の作品も調べてみるよう伝える
ま と め				

